



青竹のはげける音と燃え上がる炎に祈りを込めて

無病息災と書の上達を祈願する恒例のとんどまつりが園部公園内の屋内ゲートボール場前の広場で行われました。この伝統行事は旧園部町と商工会が20年ほど前に復活させたもので、本年は南丹市と園部町商工会が共催で実施した。訪れた人は勢いよく燃え上がる炎に願いを込め、会場で振舞われたぜんざいに舌鼓を打っていました。

(1/15 そのべとんどまつり・園部町)

「無病息災と書の上達を祈願」

「鬼は外! 福は内! 元気よく」

(2/3 節分豆まき・美山町)



みんなで楽しく元気よく

節分の日2月3日、南丹市内の各保育所・幼稚園では、節分にちなんで豆まきなどが行われました。

このうち、みやま保育所では園児たち38人による豆まきが行われました。

園児たちは、それぞれが思い思いの鬼のお面を作った後、それをかぶって「鬼は外! 福は内!」と元気な声で豆をまきました。この後、みんなで豆を食べて、今年1年間の無病息災を願いました。

1月28日、美山地域でも有数の豪雪地帯にある鶴ヶ岡小学校では、恒例の『雪像づくり』が行われました。全校児童、先生、保護者に加え佛教大学美山オープンキャンパスの学生たちの参加で、積雪約50cmのグラウンドで児童が考えたユニークな雪像を創りました。

雪害の暗いニュースが多い中、雪の温もりと、自然の素晴らしさを改めて感じたひと時でした。



力作に思わずにっこり「ハイ・ポーズ!」

「気分は未来の芸術家」

(1/28 鶴ヶ岡小で雪像づくり・美山町)

「みんなで楽しくジョギング」

(1/29 大堰川ジョギング大会・八木町)

南丹市八木運動公園で1月29日、2006年大堰川ジョギング大会(主催:NPO法人八木町体育協会)が行われました。大会は5歳・2.3歳のジョギングコースと運動公園内(1.5歳)を走るファミリージョギングに分かれており、約200名の参加者は快晴の空の下、沿道からの温かい声援を受けながら自分のペースで元気に走っていきました。

ゴール後は地元婦人会・協力団体の皆さんが用意した「大堰川なべ」が振舞われ、参加者はアツアツのなべを食べて体を温めていました。



朝日を浴びて丹波路を快走